

総務文教委員会記録

令和 6 年 12 月 2 日（月）
11 時 05 分～11 時 45 分
第 1 委 員 会 室

【委員】芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員

【執行部】

（総務部）山根総務部長、末岡総務課長、森井総務課総務管理係長

（地域政策部）田中地域政策部長、岸本政策企画課長

（教育委員会）草刈教育部長、藤井教育総務課長

（消防本部）赤岸消防長、大橋総務課長

【事務局】松井書記

【議題】

- 1 所管事務調査事項について なし
- 2 12月10日（火）の委員会審査日程等について
- 3 その他
- 4 ぎかいポストに寄せられた意見等への対応について（委員間で協議）
- 5 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて（委員間で協議）

令和6年12月10日（火）10時開催の総務文教委員会における予定議題

- 1 陳情審査
 - (1) 陳情第154号 浜田市健康増進センター（すまいる）に冷暖房機器の設置を求める陳情について
- 2 議案第59号 浜田市防災行政無線施設条例の一部を改正する条例について
- 3 議案第64号 指定管理者の指定について（浜田市三隅B＆G海洋センター、浜田市三隅中央会館、浜田市三隅中央公園及び田の浦公園運動施設、浜田市岡見スポーツセンター）
- 4 議案第65号 指定管理者の指定について（浜田市世界こども美術館創作活動館）
- 5 議案第66号 指定管理者の指定について（浜田市立石正美術館）
- 6 議案第67号 指定管理者の指定について（石央文化ホール）
- 7 議案第68号 指定管理者の指定について（浜田市浜田郷土資料館）
- 8 執行部報告事項
- 9 所管事務調査
- 10 その他

【会議録】

〔 11 時 05 分 開議 〕

○芦谷委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。出席委員は6名で定足数に達している。それではレジュメに沿って進める。

1 所管事務調査事項について

○芦谷委員長

12月10日に開催する当委員会における所管事務調査として、委員から執行部に説明等を求めたい事項があれば申し出てほしい。なお、委員会としての要求になるので、委員会として調査が必要と考える事項とその目的を明確に述べてほしい。

（ 「なし」という声あり ）

2 12月10日（火）の委員会審査日程等について

○芦谷委員長

次回の委員会で予定している議題はレジュメの囲み部分を参照されたい。今回当委員会に付託された請願はないので、最初の予定議題は1の陳情審査である。陳情1件について審査し、その後採決を行う。

ここで、委員会として参考人招致の必要があるかどうかをお諮りする。

（ 「必要なし」という声あり ）

それでは参考人招致は行わないこととする。続いて委員及び執行部に伺うが、当日、審査の参考のため、陳情内容にある件について、現状での市の対応等を確認させてもらいたいと思うが、よろしいか。

○村武委員

健康増進センター「すまいる」の現在の利用状況が知りたい。今回の陳情は冷暖房機器の設置についてということなので、できれば月ごとの利用状況が分かれば良いが、可能だろうか。

○教育部長

月ごとの利用人数で良いか。一応統計はある。細かいところは見てみないと分からないが、月ごとのものはあると思う。

○沖田副委員長

この施設のそもそもの目的は何か。

○教育部長

社会教育施設である。

○沖田副委員長

ということは、まちづくりセンターと同等ということか。

○教育部長

健康増進という名前なので、利用者は社会人や高齢者が主になる。所管はスポーツ振興課である。

○沖田副委員長

高齢者福祉のように感じるのだが。

○教育部長

高齢者に関わらず利用できる。

○沖田副委員長

市内で同じように軽スポーツができる施設はどのくらいあるか。当日で構わないので教えてほしい。

○芦谷委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

それでは以上の2点について、当日よろしく願います。

次に、予定議題2から7までの6件が市長提出議案で、審査を行う。

予定議題8の執行部報告事項は、執行部から提出に至った背景やポイント等を説明してもらい、その後質疑を行う。委員は事前に資料の熟読をお願いします。

最後に予定議題9の所管事務調査だが、今回はない。

以上が12月10日の予定議題である。この議題2について委員及び執行部から質問はあるか。

(「なし」という声あり)

3 その他

○芦谷委員長

その他として執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、ここで執行部は退席されて構わない。

(執行部退席)

4 ぎかいポストに寄せられた意見等への対応について（委員間で協議）

○芦谷委員長

議会広報広聴委員長から、回答を作成するよう依頼があった。議会広報広聴委員会への回答提出期限が12月12日となっている。本日はこの意見に対してどのように回答するか協議したい。委員から考えがあれば聞かせてほしい。

○西田委員

どういう地域の方がどのような思いでこの意見を出されたのか。地域交通につい

てはいろいろなやり方をすでにやっているのでもう少し具体的な情報が分かれば良いのだが。コミュニティバスをもっと必要なところへ回せとあるが、必要なところへ回してはいると思う。ただ、それが十分でないというのは分かる。

○沖田副委員長

この意見が入っていたのは、浜田まちづくりセンターだったか。

○村武委員

そうだったと思うが、確証はない。

○岡本委員

浜田まちづくりセンターでコミュニティバスをどうこうという意見が出る要素があるのか。対象としては三階町のことかと思った。むしろ浜田地区ではなく石見地区ではないか。この意見は、分かって言っているのだろうかと思う。

○村武委員

浜田まちづくりセンターのぎかいポストに入っていたとしても、そのエリアに住む方とは限らないと思う。特に浜田まちづくりセンターは管轄外の所から来られる方も多いので、どこの地域の方の意見かは分からない。

○西田委員

どこがある程度足りていて、どの地域が足りていないからもっとこちらの地域に回してほしいといった、もっと具体的な情報が欲しい。

○岡本委員

今はそれが分からないので、想定の中で我々がどう判断して回答するかである。

○沖田副委員長

拡大解釈すれば、旧那賀郡はあいのりタクシー事業やおでかけバスなどをやっているが、浜田はそれが無いからつくってほしいという意見とも取れる。しかし一般の人がコミュニティバスやデマンド交通などの言葉を使い分けられるとも思わない。今はコミュニティバスなどが取り上げられるテレビ番組もいろいろあるので、この文面だとそういう解釈もできる。

○西田委員

もう少し具体的な情報を集めて対応したいという答えになるのではないかな。

○永見委員

エリアが分からないことには判断しかねる。

○沖田副委員長

強いて言えば、抽象的な答え方をするしかない。今年の地域井戸端会でもテーマを地域交通に定めたこともあって、本委員会では地域交通の充実に向けて取り組んでいる、くらいの回答しかできないと思う。

○村武委員

副委員長が言われたような形で良いのではないかな。

○岡本委員

誰がまとめるのか。

○芦谷委員長

議会からの回答はまちづくりセンターに表示するのか。

○村武委員

いいえ、議会だよりに掲載する。

○沖田副委員長

言い換えれば、議会だよりをいろいろな人が見て、その回答も見ている可能性はあるので、委員会として返すならそういう返し方になる。

○西田委員

それで良いのではないか。

○沖田副委員長

おっしゃることはごもっともで、我々委員会としても深く受け止めて、そのように取り組んでいる、という答えでどうか。

○芦谷委員長

委員からいただいた意見を基に正副委員長で回答案を作成する。次回12月10日の委員会でお示しするので確認いただきたいが、よろしいか。

(「はい」という声あり)

5 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて（委員間で協議）

○芦谷委員長

先般の全員協議会でも発言したが、取扱いについて議会の腹合わせがされていないと感じる。総務文教委員会には7件回ってきているが、これを一体どうしていくのかについて皆の思いを聞かせてほしい。

○村武委員

これらのテーマについて、総務文教委員会で今後どのようにしたら良いのかを論議してもらいたい。例えば、不登校に関する件は、この発言者に来てもらって、もう少し掘り下げて聞いて、総務文教委員会でできることに取り組む、などでも良いかもしれない。

○芦谷委員長

もう一度話を聞くということか。

○村武委員

もう一度話を聞きたい案件があればということである。

○岡本委員

私は当日欠席していたのだが、1番の方の発言内容に「塾生」と書いてあるが、発言者はそういったことに関わっておられるのか。

○村武委員

塾をされている方である。

○岡本委員

一般的な塾か、それとも障がいに関わるものなのか。

○村武委員

普通の塾をなりわいとされている方だが、塾をする中で不登校の児童が多いという話だった。

○岡本委員

自分の塾に多いということか。

○村武委員

塾に来ている中にも不登校の子が多いし、それ以外でもそういった話を聞くので、自分としては不登校児童に対するメタバースなどをしていきたいということだった。

○岡本委員

自分がやりたいのか、それとも市にそうしたらどうかと言っているのか。

○村武委員

自分が支援をしていきたいというのが一つあるので、市としても何か支援があればというところだと思う。

○岡本委員

なぜこういうことを聞くかという、本人を招へいして話を聞くとして、ある程度専門的な意味で言っておられるなら聞いてみたいと思うが、ただ自分の塾にそういう子がいて心配だというなら皆と同じ感覚だろうと思う。メタバースについても参考になるなら良いが、机上で思われたことなら招へいしてもどうかと思う。専門的に不登校の子どもたちに直接関わっていろいろなことを体験し、こう提言したいということであれば聞きたいと思った。

○村武委員

かなり具体的なことを考えておられて、実際に講演会なども進めておられる。

○岡本委員

講演会をしているのか。

○村武委員

はい。講演会をしたり不登校の児童や保護者との対話などもされており、具体的にメタバースを利用した不登校支援をしたいと考えておられる。どういうことをやっていきたいのかは、来てもらって聞けば、結構具体的に話されると思う。

○岡本委員

聞いて我々がその人を応援しようというのか、それともほかの意味で委員会として答弁するのか、支援するのかというところがある。何が言いたいかというと、当人が、村武委員が言うような状態であれば、今活動をスタートした感じである。もっと経験を積んで、こういうところをもっとということであれば我々の参考になるだろうが、スタートした時点でどう評価するかというと、やっていることは間違っていないとは思いますが、評価しづらい。そういう意味で、招致するのはどうかと思うし、それを踏まえて我々はどう整理していくかという話である。

○芦谷委員長

今あったように、我々がどう整理するかという話なので、今後の方向について何

かあれば他の委員からお願いする。

○西田委員

そういった不登校やひきこもりの児童生徒がたくさんいて、ある程度社会復帰させるための第一歩としてフリースクールなどに踏み出す。でもそこを踏み出せないで、一歩踏み出すための援助を行政にしてもらいたい、といったことを言われていた。議会も行政と一緒に支援策を考えていきたいといった返事で良い気がする。

○岡本委員

そういう意思が出ているなら、当人の活動に対して応援するという明確なものが出るから良いが、当人がやろうとしていることに過剰なことをしてもいけない。総務文教委員会は前回くらいに不登校を取組課題に扱っていたのではなかったか。

○永見委員

不登校に関する提言をした。

○岡本委員

あれからどういう状態なのか。それとこの関連はどうなのか。

○永見委員

校内フリースクールを市が設置するとの答えをもらった。

○西田委員

山びこ学級や青少年サポートセンターといったところに踏み出すまでの間に、まだそこに行けない子どもたちがいる。この発言者は、まずつなぎとなるシステムを作りたいと、そのために何か応援してほしいと言われている。

○岡本委員

そういう考えには非常に賛成である。青サポなどは、不登校の子を引っ張り出すのになかなか苦勞している。発言者のような方々が、自分はこのことをやりたいというのであれば、応援しようという形があって良いと思う。そのようなことを整理して返答したらどうか。

○永見委員

北分庁舎にある山びこ学級に登校している子どもたちが極端に少ない。その前段階での補助も必要だと思う。そういうことも交えて提言はしているので、そのあたりも含めて答えたらどうかと思っている。

○岡本委員

この人の思いは分かったので応援してあげたら良いと思う。

○村武委員

どのように応援するのか。

○岡本委員

それはまた協議しよう。

○村武委員

委員会としても応援できるように今後取り組んでいきたい、といった感じか。応援するためには、もう少し詳しく話を聞くこともあるかもしれないということか。

○西田委員

浜田で言えば、山びこ学級や青サポに行っている子は良いが、行けない子のほうが多い。その間のつなぎをどうするか。そのシステムを作ろうと言っておられる。

○永見委員

山びこ学級に通う子が今12、13人で、不登校の子どもたちが130人を超える状況であり、1割程度しか山びこ学級に行っていない。そういうことも前の提言書には入れている。

○村武委員

行けない子に対して、一つだけでなく、いろいろなやり方が必要だと思うということだと思う。

○芦谷委員長

あまり掘り下げても難しいので、今聞いた話で、委員会としてどうするかという方向性だけは出したい。私の思いだが、全部で7件あり、自然塩の件については私が考えている。今まであったことを書いて、結論的には、はまだ市民一日議会で意見があったことを執行部に伝えることと、総務文教委員会としても受け止めるという回答にしてはどうかと考えている。これはあくまでも私案である。残りの6件は各委員に割り振って対応案を出してもらい、それをもとに10日に議論するのはどうか。

○村武委員

自分がこれをやりたいということを出すのか。それとも全委員が全部について案を考えるのか。

○芦谷委員長

全部といったらまとまらないから1件ずつにしようではないか。1件の案を作ってもらって、それを10日に皆で議論して修正するほうが良いと思う。

○村武委員

例えば私なら、1番の発言者への対応について案を出すと今日決めたら、それを10日までに出して皆で協議するということか。

○芦谷委員長

はい。そういうことでよろしいか。

(「はい」という声あり)

では1番はどうか。

○村武委員

私がやる。

○芦谷委員長

続いて3番の空きビル、空き地についてはどうか。

○西田委員

一般質問で近いことを取り上げるので私がやる。

○芦谷委員長

4番の自然塩について私が案を出している。5番はどうか。

○沖田副委員長

私がやる。

○芦谷委員長

6番についてはどうか。残っているのは岡本委員と永見委員である。

○岡本委員

はい。

○芦谷委員長

では6番は岡本委員、7番は永見委員にお願いする。11番については私がやる。

もう一度言うが、自然塩については私がすでに案を書いているが、これにこだわらず、総務文教委員会で議論するための案を作ってもらおうという提案である。少し所感を言うと、あまり拾い上げるとすごく時間も掛かるので、今日の協議なども踏まえて、今の段階でどうするかを決めたほうが。12月10日の委員会では皆の案を基に方向性をきちんと決めて、12月13日には出そうと思っているのでよろしくお願いしたい。

○村武委員

案を10日の委員会に持ってくれば良いのか。それとも事前に出すのか。

○芦谷委員長

事前が良い。10日に皆の案をしっかりと議論して方向付けをしよう。

議題は以上となるが委員から何かあるか。

○村武委員

次号の議会だよりのことなのだが、委員会の活動報告の記事を委員会で検討して書いてもらうように現在している。前は委員長がまとめてくださったが、その件を協議してもらいたい。

○芦谷委員長

また相談しよう。

○村武委員

締切りが12月16日である。

○松井次長

委員会の中でどなたが何について書くか決めてもらっても構わない。

○芦谷委員長

我こそはという方はいるか。議会広報広聴委員に言えばしわ寄せがいくので、委員会全体で考えたい。

○村武委員

これは委員の皆に書いてもらいたいとお願いするのは、議会広報広聴委員は議会だよりを作るのに記事を担当していて結構な負担になっているので、それ以外の委員にも協力してもらいたいというのが趣旨である。

○岡本委員

要は何を書くのか。委員会の活動の中のことを言うのか、それとも委員会活動を通して自分の見解を言うのか。その辺が少し迷う。そこが整理できれば良い。

○芦谷委員長

議会広報なので、ある程度、本筋から離れたようなことは避けないといけないと思う。

○沖田副委員長

まだ真庭市の視察については書いてないのではなかったか。

○松井次長

議会だよりminiに書いている。

○岡本委員

miniに書いたということは、もう触れられないだろう。

○芦谷委員長

交通問題についてはもう2、3回書いている。

○沖田副委員長

ほかにネタがない。だから真庭市に行った結果を踏まえてという書き方はできるのではないか。

○岡本委員

永見委員に書いてもらおうという意味で提案すると、はまだ市民一日議会の中身を見ると総務文教委員会の所管が多い。そういうところを踏まえた形でどうか。

不登校の話が出たが、今自分にとってすごく興味がある。前の委員会で調査していたから我々は触れていないが、実際不登校は注視しなければいけないのだろうと思った。そういう意味で市民一日議会の内容を見ると自分たちの関わることが多いということ踏まえた記事になれば良いと思っていた。私は市民一日議会を欠席していたので、永見委員にその辺を書いてもらったらどうか。次は私が書くので。

○西田委員

総務文教委員会の所管の中で委員会活動を書くとなると、交通についてはこれまでもいろいろ書いているので、それ以外となると不登校などについてで、総務文教委員会では過去に山びこ学級や青サポなどをいろいろ研究して不登校児童生徒の対策を考えてきたが、今回の市民一日議会を踏まえると、山びこ学級や青サポに行きたくても行けない子どものほうがはるかに多く、皆に見えない子どもたちを一度表に出して、この人たちをどうするか、青サポや山びこ学級に踏み出してもらうためにはどうしたら良いか、市民皆で考えようといったことを総務文教委員会の紙面を使って市民に訴えろとか、あるいは防災の視点でいくと、防災訓練をいろいろなところで何度もやっている中で、防災についてもう少し掘り下げて書くとか。

○岡本委員

そういう話があったので、私が書く。

○村武委員

不登校のことなども良いと思う。ただ、これが総務文教委員会としての記事になるので、この中で総意をいただかないといけないと思う。今後取り組んでいくとか、取り組んでいきたいということで、委員会の総意としてまとめられるのであればそれ

で良いと思う。

○芦谷委員長

よろしくお願いします。以上でよろしいか。

(「はい」という声あり)

それでは、以上で総務文教委員会を終了する。

[11 時 45 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員会

委員長 芦 谷 英 夫